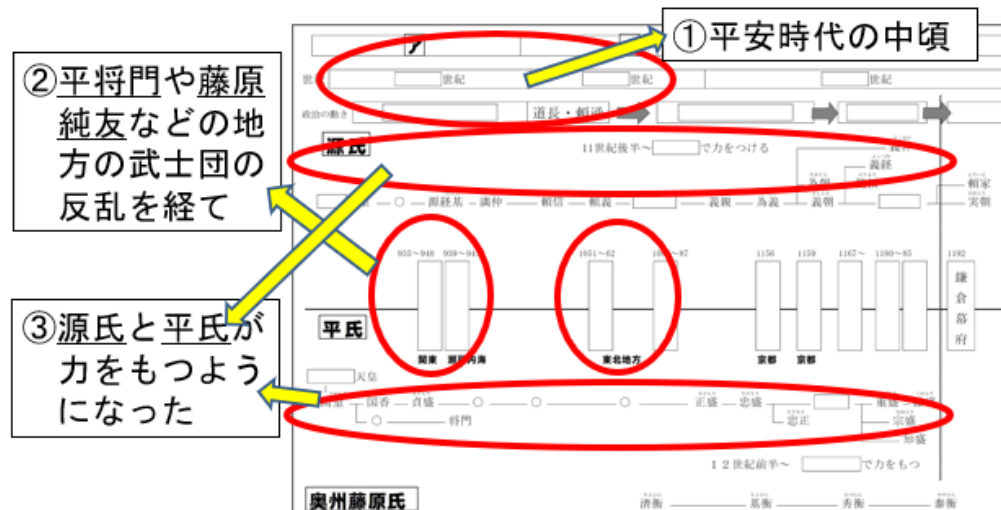


<アイデア>

歴史的分野 「(2)ア(7)」(武家政治の成立とユーラシアの交流)
 諸情報の中から、目的に応じた情報を選別して読み取る技能
 を活用して、関係図から武士の台頭についての情報を、5W1H
 に着目して読み取るアイデア

【学習問題】

武士はどのようにして台頭し、成長していったのでしょうか。



※本アイデアは、平成29年度総合教育センター研修員A先生の実践を基に、再構成したものです。

本単元に関する学習指導要領の内容

歴史的分野「(2)ア(ア)」(武家政治の成立とユーラシアの交流)

(2) 中世の日本

課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 武家政治の成立とユーラシアの交流

鎌倉幕府の成立、元寇(モンゴル帝国の襲来)などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元がユーラシアの変化の中で起こったことを理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)から(イ)までについて中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること。

(イ) 中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること。

＜本アイディアのポイント＞

- ・ 関係図から時間，空間，相互関係などに着目して，必要な情報を読み取る手掛かりとして，5W1Hに着目するアイディアです。
- ・ 前半は，教師とともに読み取り方を確認します。後半は，自分たちの力で読み取るように促します。最後に，前半と後半で読み取ったことを合わせて，「武士の台頭」について個人でまとめるように進めます。

ここでは，関係図の一部を穴埋めし，キーワードを意識させる工夫をしています。場合によっては完成している関係図から始めることも可能です。



【展開例】

- ① 関係図から，必要な情報の読み取り方を知る。
- ② 前半の読み取りを教師と行う。
- ③ 後半の読み取りをグループで行う。
- ④ まとめる。

展開① 関係図から、必要な情報の読み取り方を知る。

歴史学習では、資料から必要な情報を読み取るために、5W1Hに着目することが大切です。その中でも関係図からは「いつ」「どこで」「誰が」「何をしたか」などの情報を読み取ることができます。関係図の左側から、一緒に読み取っていきましょう。



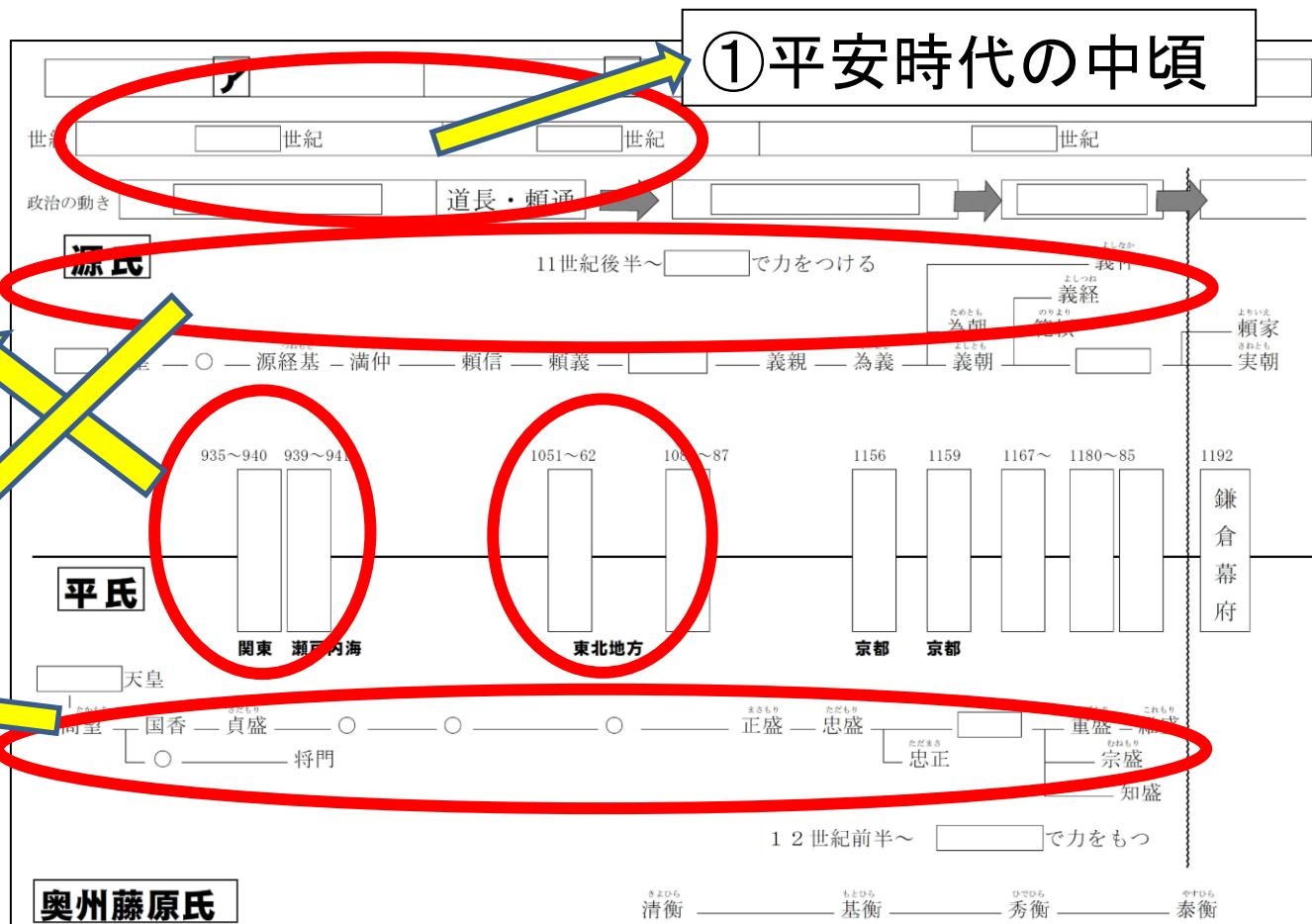
※読み取りの例

「いつ」……………①平安時代の中頃
「誰が」……………②平将門，藤原純友
「何をした」………反乱を起こした
「誰が」……………③源氏，平氏
「何をした」………力をもつようになった

展開② 前半の読み取りを教師と行う。

② 平将門や藤原純友などの地方の武士団の反乱を経て

③ 源氏と平氏が力をもつようになった



まとめ（前半）の例

平安時代の中頃，平将門や藤原純友などの地方の武士団の反乱を経て，源氏と平氏が力をもつようになった。

展開② 前半の読み取りを教師と行う。

関係図の右側を自分たちで、読み取ってみましょう。



11世紀の後半になると、東北地方や西日本で新たな動きがあることが分かります。

では、「いつ」は11世紀後半になるとだね。

「どこで」と「何を」は、東北地方では、奥州藤原氏が勢力をのばしたとなるのかな。



展開③ 後半の読み取りをグループで行う。

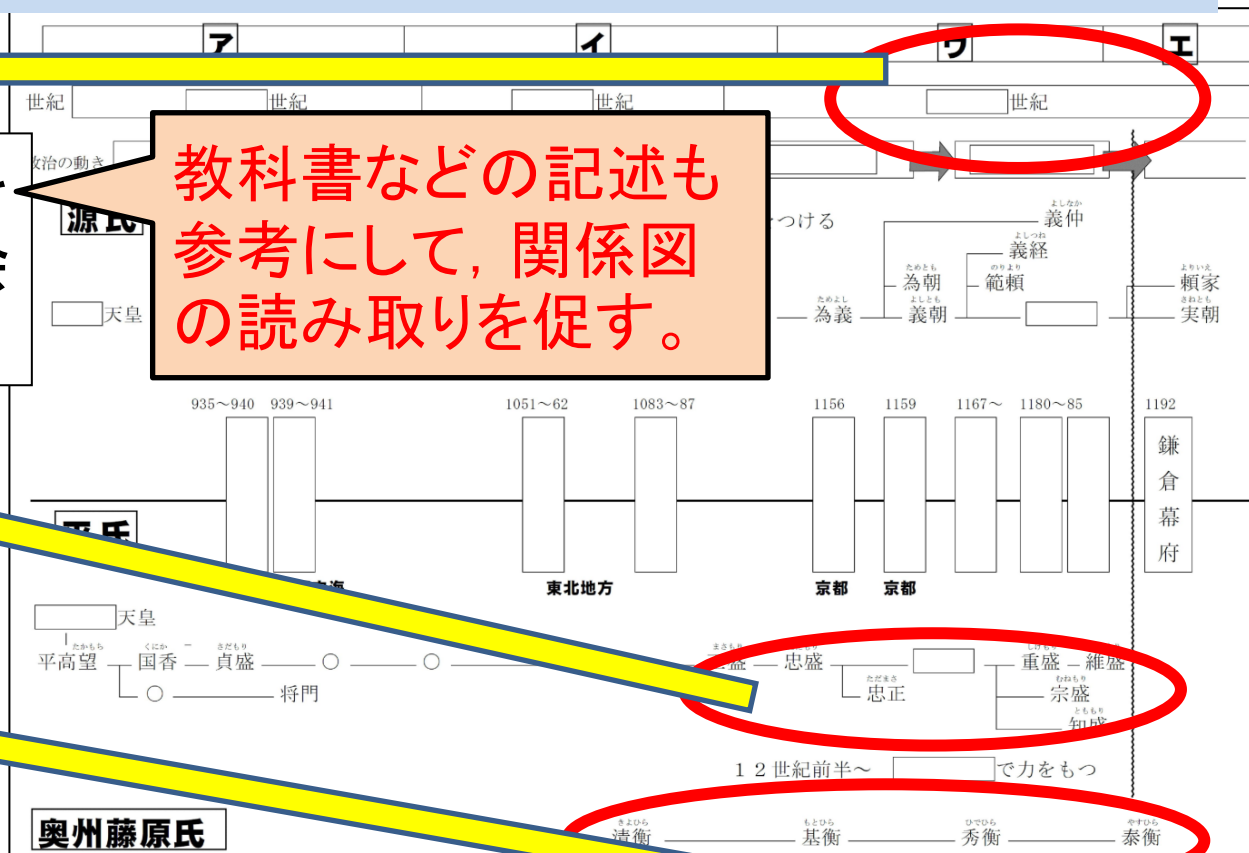
⑥ 11世紀の後半

⑦ 荘園や公領に館を築き，地方の社会の中心となった。

⑤ 西日本では平氏が勢力をのぼし

④ 東北地方では奥州藤原氏が

教科書などの記述も参考にして，関係図の読み取りを促す。



まとめ（後半）の例

その後，東北地方では奥州藤原氏が，西日本では平氏が勢力をのぼし，11世紀後半には，荘園や公領に館を築き，地方の社会の中心となった。

展開④ まとめる。



話し合いを基に、もう一度関係図全体を見て、武士がいつ頃から、どのように成長していったのかをまとめてみましょう。

まとめ（例）

平安時代の中頃、平将門や藤原純友などの地方の武士団の反乱を経て、源氏と平氏が力をもつようになった。その後、東北地方では奥州藤原氏が、西日本では平氏が勢力を伸ばし、11世紀後半には、荘園や公領に館を築き、地方の社会の中心となった。

受講者の感想

- ・ 様々な事項を1枚で表現できる関係図の有効な活用について学ぶことができた。
- ・ 「どのようにして～になったのか」のように、流れを捉える学習は教える側も学ぶ側も難しいので、関係図に絞り込んで、授業を構成するアイデアが凄いと思った。精選した資料で学びが深まることを感じた。
- ・ 年表を調査して、教科書の内容と結び付けて武士の成長を捉えさせるアイデアがいいなと感じました。年表→まとめにもっていくときの教師のコーディネートは特に大事になりそうです（特に理解に時間がかかる生徒に対して）。